

第七回 こども教育サポート賞 受賞紹介

読書力の向上を目指して

氏原 和子

平成元年越知町役場を退職され、学校教育の振興に役立ててほしいと、退職金の一部をご寄附されたのを皮切りに、現在まで毎年23年間の長きにわたり地元の小中学校の図書購入費として寄附を続けておられます。退職された当時は中学校2校、小学校6校があり、それぞれの学校で学校図書の充実を図ってきましたが、児童生徒の減少により統合が進み、現在は小学校1校、中学校1校となっています。しかし、学校図書については、集約され益々充実したものとなっております。現在、それぞれの学校図書館では「氏原文庫」の名称で新着本コーナーを開設し、児童生徒の読書に対する意欲の増進に繋がっています。これもひとえにご寄附の賜物です。

読書は、子どもたちが言葉を学ぶ、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで、欠かすことの出来ないものです。こうした観点



恒例の図書委員との記念写真



図書委員との懇談会

点からもご寄附による児童生徒の読書活動に尽力された功績は誠に多大なものがあります。
(越知町教育委員会推薦)

地域の誇りを育てる取組みについて

松岡 善郎

地元のJAに勤めるかたわら、農業で培われた高い知識・技能を生かし、新居小学校の児童に対し今日まで「ふるさと学習：：新居の農業」の学習指導に務め、大きな功績をあげられています。

特に、新居地区の特産物であるメロンに視点をあて、それを学習に取り入れ、児童に農家の喜びや生産の工夫を伝え、地元新居地区への理解や誇りを培うことに繋がられています。退職後も、新居小学校や新居地区と深く関わり、様々なボランティア活動を展開しておられます。児童の安全指導については、昭和四三年より交通安全協会新居分会事務局長として、献身的な活動が続いています。

現在、新居小学校支援地域本部の地域コーディネーターとしても活躍しており、地域と学校をつなぐ大切な役割を果たしておられます。

また、写真撮影の技術を生かし、地域ぐるみ教育の活動を



新居小学校での授業風景



ふるさと学習

記録するとともに、地域本部通信として地域全戸に発信しています。
(土佐市教育委員会推薦)

伝統産業を通しての環境教育について

宮地 亀好

平成十一年に、高知県紙業技術センター退職後、学校で漉ける紙漉き用具を作成し、ケナフ・竹・こうぞ・古紙等を原料としたハガキ、卒業証書等の制作を通して、子どもたちの環境教育の支援を行なってきました。出前授業で訪問した学校は県内小中学校二八校あまり、県外は東京を始め八校となります。

穏やかな人柄と熱心かつ丁寧な指導は、子どもたちや教職員から好評で、毎年支援の要請があります。また、読み聞かせ、学校安全ボランティアなど、子どもたちに直接関わる活動や学校関係者評価委員、香美市民生児童委員、高知県地球温暖化防止推進員など、学校及び地域を支援する活動にも長年にわたり携わり貢献されています。このような活動を通じ



出前授業の風景

本市のみならず県全体の教育振興・発展に大きく寄与されています。

(香美市
教育委員会推薦)

史跡・文化財を通じての子ども支援

矢野 尚義

長年にわたり、三原村の史跡・文化財の研究をなされ、その経験をもとに平成十四年より平成二十年まで、地元の文化財保護委員として、史跡・文化財の保護・啓蒙に携わりました。平成一八年には、県の非常勤講師として小学生への指導に関わられました。

特に、小学生に対する地元の史跡学習に熱心に取り組み、毎年一日かけて、バスで三原村全体の史跡めぐりを計画され実行されています。そんな中で、子どもたちは地元にも多くの重要な史跡が残されていることを学び、その保護の重要性に気付き、ふるさとに対する自信と誇りを持つに至っています。

その他、小学校での地元木材を利用したツリーハウスづくりや、中学校での竹とんぼづくりの指導にも携わっておられます。最近では、道徳参観日のゲストティーチャーとして、小学校2年生に対しご自身の体験を下に話され、子どもや保護者に感銘を与えました。



地元の史跡めぐり

以上のように、地元の史跡・文化財の保護や啓発活動、学校教育に対する貢献は多岐にわたっております。

(三原村教育委員会推薦)